

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.36

2022年6月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



病院長就任の挨拶

診療科紹介
放射線治療

寄贈をいただき
ましたガー

看護部長就任の挨拶



マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

お知らせ

病院長就任のご挨拶

那須赤十字病院 病院長 井上 晃男



常日頃より当院に心温まるご支援、ご協力を戴き、深く感謝申し上げます。

令和4年4月より那須赤十字病院院長に就任いたしました井上晃男と申します。

当院の前身にあたる大田原赤十字病院から現在地へ新築移転し、那須赤十字病院へ名称変更したのが平成24年7月であり、令和4年で10年目という節目を迎えます。

当院の母体である日本赤十字社を説明させていただきますと、「敵味方の区別無く人を救う」という赤十字の信念に共感した初代社長の佐野常民が、明治10年西南戦争中に設立した「博愛社」をその前身としております。日本政府がジュネーブ条約に加入した翌年の明治20年に現名称である日本赤十字社へ改称し、世界192の国と地域にある赤十字社・赤新月社のうち、19番目の赤十字社として正式に

認められました。現在は赤十字の基本原則である「人道」を掲げ、国際活動及び国内災害救護活動等を行っております。日本赤十字社は現在日本国内に91の赤十字病院を有しており、当院もその一つとして地域医療に貢献しております。

さて、那須赤十字病院の前身である大田原赤十字病院が昭和24年7月に開院して以来、当院は実に70年以上を地域と共に歩んで参りました。当院は県北地域では唯一となる三次救命救急指定病院として、24時間体制で救命救急センターを稼働しております。災害拠点病院・県北最大の公的医療機関である我々の核たる事業は地域住民の健康と生命を守ることであると自負しております。従来の災害に加え、新興感染症発生時にもBCPを基盤とした柔軟な対応を行うことで地域に求められる医療を継続的に提供してまいります。

当院が現在地に移転してからの10年間へ目を向けますと、我々は度重なる大きな自然災害に見舞われ、そして今なお生活を脅かし続ける新興感染症のパンデミックという、近年稀に見る脅威に晒されております。この世界的規模の脅威から地域の皆さまがより安心した生活を送るために、地域医療が持つ役割と医療機関同士のより強固な連携の重要性を日々

実感しております。感染対策、栄養サポート、リハビリ、褥瘡対策、周術期管理など、多職種から構成されるチーム医療をさらに充実させ、今まで当院で蓄積したエビデンス・実行性のある感染対策を講じて関係者の安全を確保しつつ綿密な連携を可能といたします。さらに、社会的ニーズが高まり続ける予防医学や生活習慣病対策に病院一丸となって取り組み、地域の皆さんの健康寿命延伸に資するとともに、今後も医療の質向上に邁進してまいります。また、県北地域支援病院の責務を果たすべく、救急医療・がん診療・地域周産期医療・在宅医療等幅広い分野の患者さんに対応可能な連携体制をより一層強化し、紹介及び逆紹介による、かかりつけ医との途切れることのない連携を目指してまいります。また、

大学病院をはじめとする多機関・多分野の叡智を結集し、先端医療の発展と躍進に貢献できることを大いに期待しております。

今後も当院の基本理念である「**マイタウン・マイホスピタル**」を掲げ、日々の研鑽を惜しまず県北地域医療発展に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

放射線治療科

放射線治療科部長 砂川 好光



令和4年3月から、放射線治療科部長として、常勤門医の砂川好光です。出身地は、福島県白河市です。非常勤医師として、30年前から毎週金曜日に勤務していましたが、現在は毎日、東京から新幹線通勤しています。よろしくお願いたします。

回避する為に行われる治療に対応できる時間帯も増えました。

那須赤十字病院は、地域がん診療連携拠点病院（厚生労働省指定）に指定されています。放射線治療科では、年間200例を超える患者さんに対して、LINAC（リニアック）治療装置とCT画像を元に作成する治療計画装置（RTPS）を用いて、目的に応じた詳細な3次元治療計画を行い、画像イメージング技術と放射線治療技術を統合して、mm単位の高度な放射線治療を行っています。

（常勤1名、非常勤1名）、看護師3名（専従1名）と診療放射線技師（放射線治療専門放射線技師2名、医学物理士2名、放射線治療品質管理士）のうち日々5名のスタッフがチームを組んで、より安全で精度の高い放射線治療を行っています。これからもよろしくお願いたします。

※1 緊急放射線療法…腫瘍による脊髄圧迫、上大静脈症候群、気道狭窄、出血に対して、緊急に症状緩和を必要とするときにいう治療

放射線治療は、外科手術、化学療法に並ぶがん治療の三本柱の一つであり、制御された放射線を高精度で人体に照射して治療を行います。主に根治的放射線療法と、緩和的放射線療法と、がんを完全に治すことを目的として用いられますが、緩和的放射線療法という、進行したがんの症状を和らげる治療としても用いられます。例えば、骨転移などの痛みに対する骨転移などの痛みに対する骨転移などの痛みに対する骨転移などの痛みに対する骨転移を目的に行い患者さんの生活の質（QOL）の向上に重要な役割を果たします。また、非常勤医師2名体制から常勤1名と非常勤1名体制になり、放射線治療に関わる電話対応や

※1 緊急放射線療法と呼ばれる急速に悪化する重篤な症状や生命に関わる危機を治療を担当するスタッフは、放射線治療専門医2名



治療棟は、通院治療患者用の入口と専用駐車場が放射線治療棟に隣接されているため、車を降りてすぐに放射線治療室に来ることができます

看護部長就任のご挨拶

那須赤十字病院 看護部長（認定看護管理者） 菊池 範江



令和4年4月より看護部長を拝命しました、菊池でございます。地域のみなさまには、平時だけでなく有事の際におきましてもご高配賜り感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の幾多の波が襲来し、面会禁止など患者さまをはじめご家族の皆さまには、大変なご不便やご迷惑をお掛けしております。医療体制も様変わりし、職員の疲弊も言葉では言い表せないものがありました。地域のみなさまのご支援ご協力と、職員一丸となった組織力で何とか頑張ってきたのだと実感しております。同時に、一日でも早い終息を願うばかりです。

さて、当院看護部の基本理念は、「赤十字の理念と病院の理念を基として、地域住民の健康維持と増進のため質の高い看護の提供に努めます」とあり、今年度看護部として大切にすることを次のように掲げております。

- ① 患者さんに信頼される、患者さんを信頼する看護を提供します
- ② 看護に価値や達成感を感じながら、看護を提供します
- ③ 感謝とお互いさまの気持ちを忘れずに、働きやすい職場環境を提供します

命に関わる医療の現場は過酷なものであります。命にやりがいを感じる現場でもあります。微力ながら職員に対し「楽しくしっかりと目標を持って、モチベーション高く、やりがいのある職場環境」が提供できるような最善を尽くしていきたいと考えております。

私事ですが、学生時代を含めると30数年赤字とともに歩んでまいりました。院内での看護業務のほか、院外では新潟・東日本・熊本で起きた大地震での医療救護活動にも携わってまいりました。また、一般市民が行う一次救命処置である救急法の指導員として、地域で活動する機会も多々あり、これらは、赤字の大きな事業活動でもあります。私以外の多くの職員も、院内外を問わず様々なかたちで地域医療に貢献いたしております。

地域のみなさま、他の医療機関、介護・福祉と連携を強化しながら、安全で質の高い医療・看護が提供できるように誠心誠意努めてまいる所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



看護部室の紹介です。構成員は、私をはじめ看護副部長（認定看護管理者）3名、看護師長2名、看護補助者1名です。主な業務内容は、看護職員の支援・管理を行っており、縁の下での力持ち（外見だけではありません）的な存在です。

また、看護部には、がん看護専門看護師、12領域の認定看護師、特定行為研修終了者、各学会認定看護師等のリソースナースがおります。外来や入院、教育・研修会など地域と関わる機会も多く、専門的な知識や技術を生かして看護を提供していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（専門・認定看護師等の詳しい情報は、ホームページをご覧ください）

3月 研修医終了式

3月22日に4人の初期臨床研修医の先生が2年間の研修を修了され当院から旅立たれました。おめでとうございます。
これから他院や大学にてより専門的な活動をされる予定です。



職員一同、一層のご活躍を祈念しております

辞令交付式

3月31日、令和3年度にて退職される方を対象に辞令交付式を実施しました。

新型コロナの感染状況に鑑み、多くの職員の前で行うことはできませんでしたが、この日は院内のそれぞれの場所にて別れを惜しむ声が続いていました。



長年、病院に多大な貢献をさせていただき本当にありがとうございました。

訪問看護ステーションが移転しました



那須赤十字訪問看護ステーション

〒324-8686 大田原市中田原 1081 番地 9
☎ 0287-23-8866

住み慣れた地域社会での、自分らしい療養をお望みの方はお気軽にご相談ください。地域みなさまに寄り添ったサービスを提供できるよう、心機一転、励んでいきたいと思っております。

新型コロナウイルスワクチン 電話予約はこちら

予防医学センター（平日 13時～16時）

0287-23-9979（直通）
0287-23-1122（代表）

『主治医の許可を得ているかどうか』をお聞きいたしますので、あらかじめ主治医に確認をお願いいたします

新型コロナウイルス感染症の 受診相談については まず栃木県相談窓口 お問い合わせください

受診・ワクチン相談センター

0570-052-092

今月の表紙



那須赤十字病院後援会より車椅子用の体重計が寄贈されました。後援会会員の皆様には、普段から様々なご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。

編集後記

梅雨の時期がやってきました。じめじめして気分が落ち込む、嫌な季節ですね。私はこの時期になると洗濯物が乾かなく除湿器を購入しようか毎年悩んでいます。みなさんはいかがお過ごしですか。当院は新年度となり病院長はじめスタッフの入れ替わりで慣れないところもありますが、心機一転頑張っていきたい思います。

ロコモ・フレイルドック はじめました

加齢により心身が老い衰えた「フレイル」、移動機能の低下にまで進行した「ロコモ」を予防するため、57項目の問診と運動機能テストを通じてきめ細やかなアドバイスを提供します。

■単体実施の場合

- ・金曜日（予約制）午後2時～
- ・18,000円（税込）

■人間ドックのオプションとして追加する場合

- 当日 : 6,500円（税込）
- 後日追加 : 8,000円（税込）

お問い合わせ Tel : 0287-23-9979（直通）
予防医学センター

通年輕装のお知らせ

省エネルギーの推進や働き方改革の一環として、職員が通年輕装を実施しております。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

創立記念日のため、

7月1日は休診となります

那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜まず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.36

発行日 2022年6月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <https://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷